

# 教育は いま

第 22 号

研究テーマ

## 道徳教育の充実に関する研究

～道徳教育推進教師を中心に進める全教職員での OJT を生かした取組を通して～



仙台市教育センターでは、平成 30、31 年度からの「特別の教科 道徳」の実施を見据え、今年度より「道徳教育の充実」をテーマに掲げ、3 か年計画で調査研究に取り組んでおります。

1 年目である今年度は、実態調査を行い、各校の課題を明らかにし、研究の方向性を検討いたしました。「教育はいま」第 22 号にて、研究協力校と研究委員校での実践を基に、校内の組織体制づくり、学校における OJT を生かした道徳教育の研修、道徳教育推進教師の役割の明確化と実践例について研究成果を発信いたします。2 年目は、提案した組織体制を基にした学校全体での更なる道徳教育の充実と、道徳の時間の授業実践について研究を進めてまいります。

今回提案する取組が、教育全体を通じた、児童生徒の豊かな心を育む道徳教育の充実につながっていくことを心より願っております。

仙台市教育センター所長 今野 孝一

あなた  
教育センターは OJT で学び続ける教師を応援します

# I 研究テーマ設定の背景

道徳の新しい時代がやってくる！

## 道徳の時間 → 特別の教科 道徳（道徳科）へ

### ○新しい道徳教育の流れ

小学校では平成 30 年度、中学校では平成 31 年度から、教科書を使った「特別の教科 道徳（道徳科）」が実施されます。平成 25 年 2 月、教育再生実行会議にて「いじめ問題等への対応について（第一次提言）」が出され、道徳を新たな枠組みによって教科化する事、すべての教員が指導方法を習得できるようにすることが提言されました。その後、中教審答申「道徳に係る教育課程の改善等」（平成 26 年 10 月）を経て、平成 27 年 3 月、学習指導要領一部改正が行われ、7 月には新しい解説が示されました。現在は移行期間となっています。

学校では、平成 30、31 年度に向け、学校全体で道徳教育を進める土台づくりを行うことが求められています。

### ○仙台市の現状

平成 27 年度「杜の都の学校教育」の重点事項「豊かな心と健やかな体の育成」においては、「命を大切にする心や思いやりの心、規範意識の育成」「善悪を判断する力の育成」が示され、道徳教育の充実が求められています。

仙台市各校においては、平成 30、31 年度を見据え、全教職員で、学校教育全体を通じて、計画的に道徳教育を進めることができるよう取り組み始めたところです。

### ○昨年度までの OJT の状況

昨年度までの調査研究「教職員の力量向上を目指した学校における OJT の在り方」により、各校では「学び合う雰囲気醸成が図られている」という同僚性の向上がみられ、OJT が確実に進められていることが分かりました。学校における OJT を生かして、「学校教育全体での道徳教育」への取組を進める方策を探ることとしました。

## 道徳教育 道徳科の目標

改正された学習指導要領では、第 1 章に道徳教育、第 3 章に特別の教科 道徳の目標が示されています。

### 「道徳教育」の目標

道徳教育は、教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

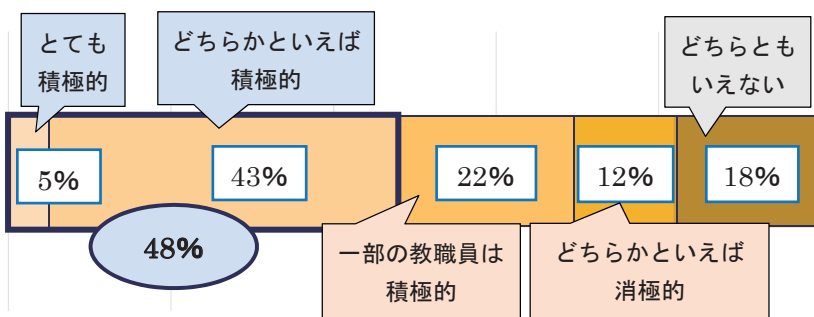
### 「特別の教科 道徳」の目標

（ ）は中学校よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（中：広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（中：人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

# II 道徳教育の意識調査から

仙台市の教職員の実態は？

教職員全体の道徳教育についての意識をどのように感じますか。(H27.7月 全市道徳教育推進教師 実態調査)



教職員全体の「道徳教育の意識」については、積極的と回答した学校は、50%に届きませんでした。

市内の約半数の先生方が、道徳教育に対して自信を持って取り組んでいる様子が見えかけます。

### Ⅲ 組織体制づくり (調査研究委員の実践から) 学校全体で取り組みましょう!

#### 1 校長先生のリーダーシップ

学校全体で道徳教育に取り組むためには、校内の組織が欠かせません。大切なのは**校長先生のリーダーシップ**です。**道徳教育推進教師(※)**を中心とした校内での体制づくりを行いましょう。

※以下「推進教師」と記載



##### 【校長先生との話し合い】

推進教師や研究主任から校長先生へ相談し、どのような体制をつくっていったらよいかを**話し合う場**を持ちましょう。

##### 【「重点目標」の設定】

**どのような児童生徒を育てたいか**、道徳教育の方針が決まったら、道徳教育の**重点目標**を設定しましょう。

校長先生には、朝会等で、重点目標を意識する話をさせていただきます。教職員・児童生徒ともに、学校全体での道徳への意識が高まっていきます。

#### 道徳の重点目標

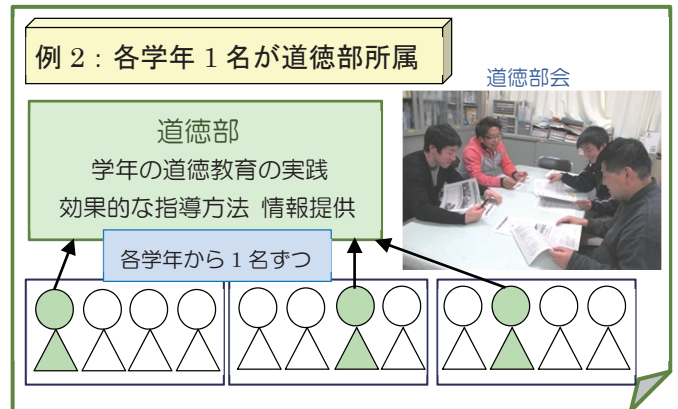
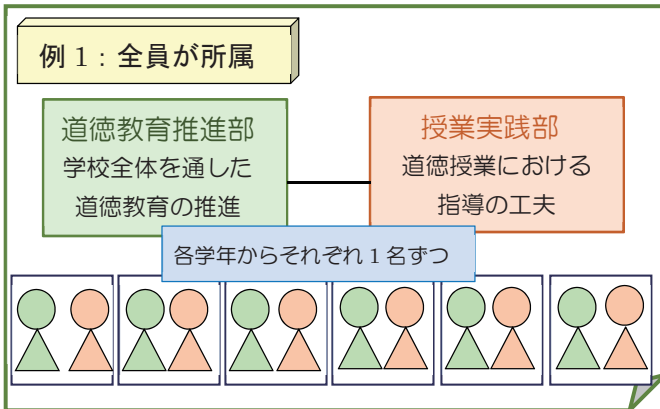
- 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って、進んで親切にしようとする態度を育てる。【親切、思いやり】
- 進んで気持ちのよい挨拶を行い、誰に対しても、真心で接しようとする態度を育てる。【礼儀】

重点目標の例

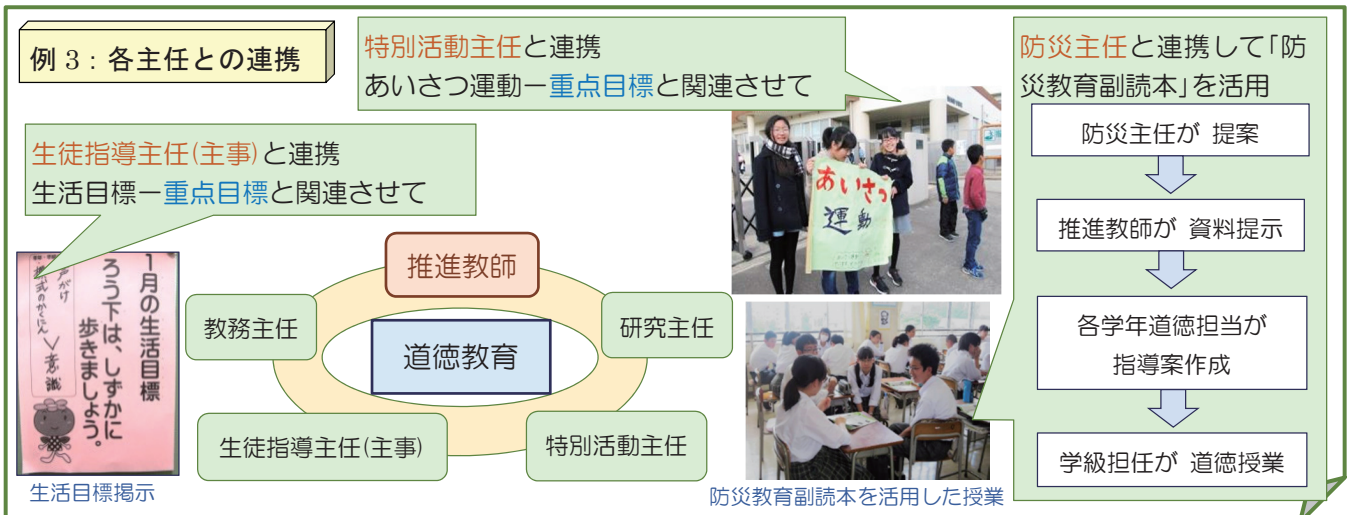
#### 2 組織体制の例

学校の**実態に合わせて**、組織体制を整えましょう。

例1は、**全員で**、各部会に学年内から所属する例です。学校全体で道徳教育を進めることができます。例2は、**各学年から1名ずつの部員**で道徳部を組織する例です。推進教師を中心に、定期的に情報交換を行い学年内に持ち返ります。



例3は、**各主任と連携**する例です。それぞれの活動と道徳の重点目標を関連させて取り組みます。児童生徒も教職員も学校教育全体での道徳教育を意識することができます。



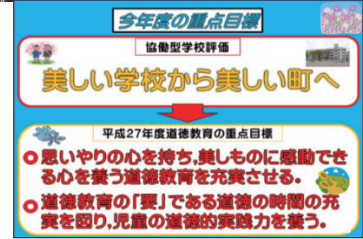
### 3 保護者や地域との連携

道徳教育の推進のためには、**保護者や地域との連携**が大切です。児童生徒、保護者や地域と共に、道徳教育が意識できるよう、学校から発信をしていきましょう。

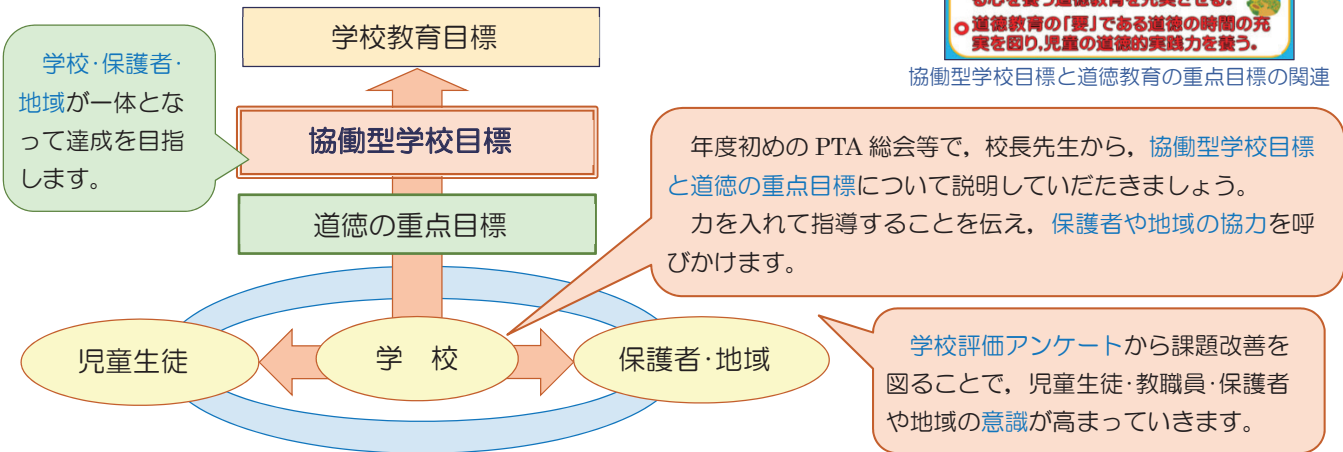


#### 【協働型学校目標の活用（例）】

協働型学校目標と道徳教育の重点目標を関連付けましょう。



協働型学校目標と道徳教育の重点目標の関連



#### 【授業公開】

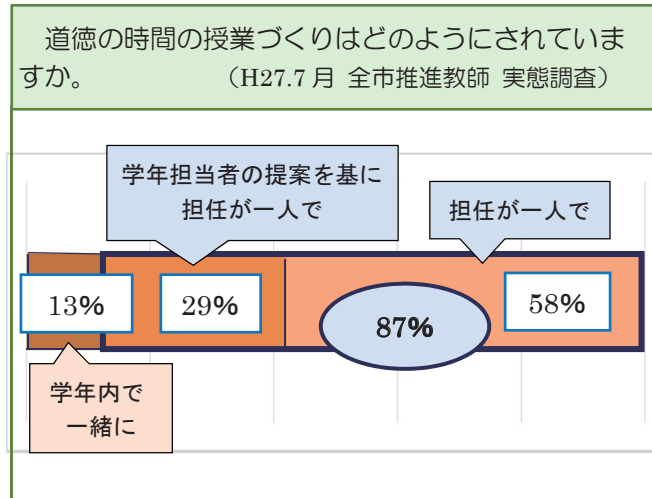
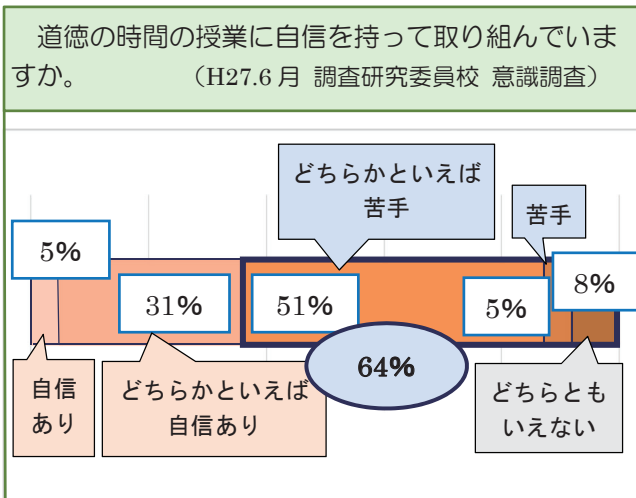
授業参観で道徳の授業を公開しましょう。年間の参観日で各学級 1 回は道徳、または、全校一斉に道徳参観日を設定します。学校全体での充実した道徳教育が期待できます。



授業公開

## IV OJT を生かした取組 (調査研究委員の実践から) 道徳を学びましょう!

道徳教育推進には、道徳教育の研修が欠かせません。学校における OJT を生かして、授業づくりや授業実践などの学びの機会をつくりましょう。



60%を超える先生方が道徳の時間の授業に自信がなく、何らかの不安を抱えていることが明らかになりました。それにもかかわらず、参観する機会も少なく、実際の授業づくりは担任一人で行っている先生方がほとんどということが分かりました。

# 1 授業づくり研修

校内研修として、夏季休業中などを利用したOJTを設定しましょう。日程調整は研究主任、内容は推進教師が先生方が困っていることを中心に組み立てます。



## ミニ OJT 研修

実際に先生方でやってみる参加型の研修を組んでみましょう。気軽に参加できるように時間は30分で設定しました。

### 【資料提示をしてみよう】

- 実際に読んでみて、読み方の工夫を考えます。
- 効果的な資料提示の方法を紹介します。

速さ 強弱  
間を考えて



挿絵をTVで  
紙芝居で  
ペープサートで

### 【板書をつくってみよう】

- 板書の工夫で授業が変わります。
- 実際にその場で板書をつくっていきます。

主人公と友達の  
気持ちを対比させて



### 【話し合いをしてみよう】

児童生徒の立場で  
考えを出し合って

- 授業場面のように先生方で話し合います。

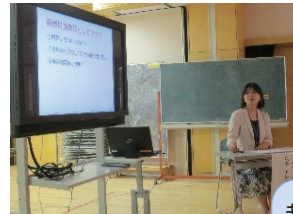
考えを広げ、深める  
ための発問を

- 全体で発問を共有します。



### 【研修会での講師の講話】

- 道徳の授業づくりのポイント
- 学校全体での道徳教育の進め方
- 道徳科で何が変わるの？



教育センターの  
サポート訪問の  
依頼もOK

## 一緒に授業づくり

授業づくりに一緒に取り組むのもOJTの有効な方法です。作成した教材・教具等も共有しましょう。

### 【推進教師の先生に相談】

- 推進教師、道徳の得意な先生にまずは相談です。



### 【学年の先生方と一緒に】

- 一人で悩まず、一緒に考えましょう。
- 授業後に板書を見せ合うのもよい研修です。



### 【校内研修会にて】

- 研修会を推進教師がコーディネートします。



# 2 授業研究

校内研究で道徳について学ぶ機会をつくりましょう。お互いに授業を参観し合ったり、授業後に検討し合ったりすることで道徳の授業への不安が軽減し、学びが深まります。

学年で教材研究



授業提案(各担任)



検討会(全職員)



担任が指導案作成



学年部で事前検討

実態や担任の  
思いに合わせて  
本時を考えます。



それぞれ参観した  
学級の検討会に  
参加します。

学年内で同時  
開催します。



よりよい授業をしたい！

### 3 授業公開

校内で授業を公開することで、道徳の授業に苦手意識や大変さを感じる先生方の意識が変わります。お互いに授業を参観する機会をつくりましょう。

教育実習生へ



自分にはちょっと難しい  
準備が大変  
特別な時にしかできない

いつでもどうぞ！

自分にもできそうな授業  
やってみたい授業

フレッシュ先生へ



保護者へ



校内の先生方へ



## V 道徳教育推進教師の取組（調査研究委員の実践から）道徳を進めましょう！

道徳教育推進教師について、学習指導要領解説 道徳編には、次のように記されています。

道徳教育推進教師とは・・・？

各学校においては、道徳教育の目標を踏まえ、道徳教育の全体計画を作成し、**校長の方針の下に、道徳教育推進教師を中心に、全教師が道徳教育を展開**する

推進教師は、学校全体で進める道徳教育のコーディネーターです。

道徳教育推進教師の役割

- 1 道徳教育の**指導計画**の作成
- 2 **全教育活動**における道徳教育の推進、充実
- 3 **道徳の時間**の充実と指導体制
- 4 道徳用**教材**の整備・充実・活用
- 5 道徳教育の**情報提供**や情報交換
- 6 授業の公開など家庭や地域社会との**連携**
- 7 道徳教育の**研修**の充実
- 8 道徳教育における**評価** など

平成 30、31 年度に向け、推進教師の役割の中で、特に重要と考え、取り組んでいただきたい 4 点を提案します。

### 1 校長先生との話し合い

校長先生と話し合いを持ち、**どのような児童生徒を育てたいのか**、道徳教育の方針を決めます。道徳教育は学校全体で行います。そのためにも、ここからスタートです。

児童生徒の実態

教職員の願い

保護者・地域の願い

校長先生との話し合い【方針決定】

課題の書き出しと  
それを基にした話し合い



先生方で児童生徒の良さや課題を話し合い



### 2 重点目標の設定

教職員

保護者  
地域

児童生徒

重点目標の設定

教職員、保護者や地域、児童生徒の課題や願いを基に、「道徳教育の**重点目標**」を決めます。

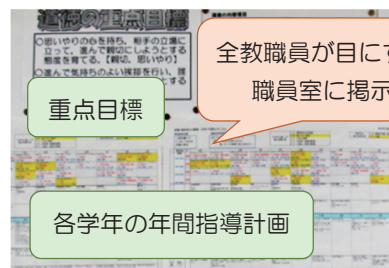
多様な道徳教育の中で、道徳の時間もそれ以外の教育活動でも、**重点的に取り組んでいこう**という目標です。

重点目標

全教職員が目にする  
職員室に掲示

各学年の年間指導計画

重点目標と年間指導計画の掲示



### 3 計画の作成と見直し

重点目標を基に計画を作成します。計画的に道徳教育を進める道しるべとなります。時期をみて、計画の見直しをすることも大切です。常時掲示し、朱書きなどをして来年度に生かしていきましょう。

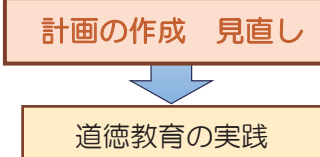
月	日	曜日	学年	指導目標	科目	内容	1年 課程
1	2	水	1	生活習慣の確立	道徳	1.1 生活習慣の確立	1
1	3	木	1	生活習慣の確立	道徳	1.2 生活習慣の確立	2
1	4	金	1	生活習慣の確立	道徳	1.3 生活習慣の確立	3
1	5	土	1	生活習慣の確立	道徳	1.4 生活習慣の確立	4
1	6	日	1	生活習慣の確立	道徳	1.5 生活習慣の確立	5
1	7	月	1	生活習慣の確立	道徳	1.6 生活習慣の確立	6
1	8	火	1	生活習慣の確立	道徳	1.7 生活習慣の確立	7
1	9	水	1	生活習慣の確立	道徳	1.8 生活習慣の確立	8
1	10	木	1	生活習慣の確立	道徳	1.9 生活習慣の確立	9
1	11	金	1	生活習慣の確立	道徳	1.10 生活習慣の確立	10
1	12	土	1	生活習慣の確立	道徳	1.11 生活習慣の確立	11
1	13	日	1	生活習慣の確立	道徳	1.12 生活習慣の確立	12

A3版 1枚の例  
各校で使いやすい形式で作成

年間指導計画の例

- ① 道徳教育全体計画
- ② 道徳教育全体計画 別葉
- ③ 道徳の時間 年間指導計画

別葉には…  
道徳教育と各教科等との関連を考え、いつ、どのような機会に指導するのかを具体的に決めて示します。



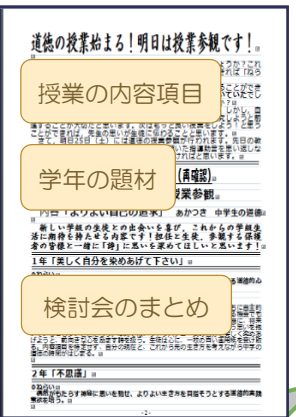
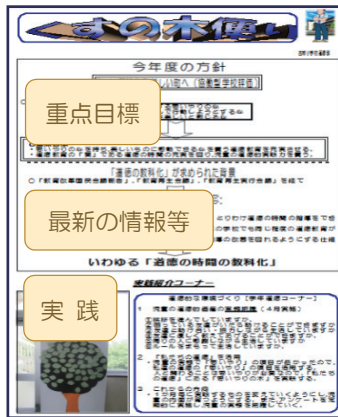
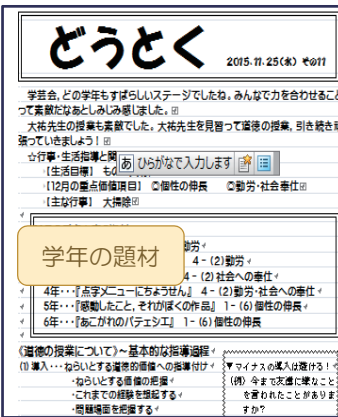
別葉を作成することで、道徳と各教科等との関連性が明確になります。  
学校の教育活動全体での道徳教育を意識することができます。

### 4 情報発信 教材整備

道徳教育の情報を発信し、道徳教育に取り組みやすい環境づくりを整えていきましょう。

#### 道徳通信の発行

情報を共有することで、道徳への意識を高め、全教職員で取り組むエネルギーになります。推進教師が月1回程度発行しています。



#### 「私たちの道徳」の活用推進

教材の活用の提案も重要な発信です。



- ・道徳の時間で
- ・朝学習の時間で
- ・時間に余裕ができた時に

#### 道徳コーナーの設置

職員室に設置することで、いつでもだれでも利用可能です。書籍や副読本、教材(心情円盤や場面絵など)を常備しています。



資料 ワークシート

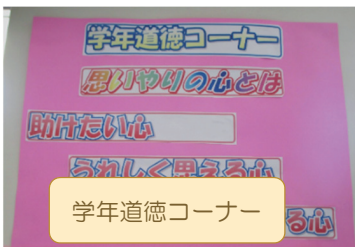
副読本以外の資料はワークシートと共にファイリングします。



共有フォルダに道徳ファイルを作成しての活用も有効です。

#### 掲示

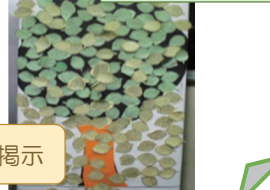
環境整備の工夫で道徳への意識が高まります。場面絵の掲示、「私たちの道徳」を活用した廊下掲示等で、学びの蓄積を図ります。



合唱コンクール ダイヤモンドラキョウ



思いやりの木

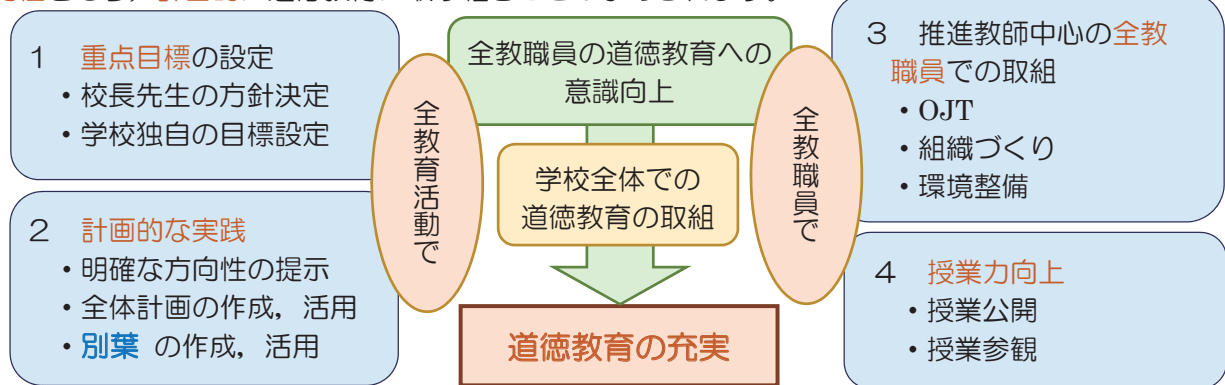


廊下掲示

## VI 今後各校に求められる取組

さあ、スタートを切りましょう！

道徳教育の充実に向け、各校の実態に合わせ、できるところから一歩ずつ取り組んでいきましょう。学校の**全教育活動**で、**全教職員**での取組が大切です。そのためには、**方針**をしっかりと決め、明確な**方向性**をもち、**計画的**に道徳教育に取り組むことが求められます。



学校独自の**重点目標**を決め、全体計画や各教科等との関連を示した**別葉**を作成し、**計画的**に**実践**を進めます。また、各校の実態に合った組織づくりやOJT、環境整備に**全教職員**で取り組みます。授業参観などの実施により**授業力の向上**を目指し、**道徳教育の充実**を図っていきましょう。

### 【教育センター研究発表会 調査研究委員会の発表への講評から】

研究アドバイザー 昭和女子大学大学院 押谷 由夫 教授

道徳教育充実のためのポイントの一点目は、先生方の意識改革です。教育基本法では「教育の目的は人格の完成」とされています。「知・徳・体」すべて必要である中、「徳」を中心に、人間としてどう生きていくかをしっかり意識しながら、自分自身の生き方、社会の在り方を考えていくことが大切です。なぜ道徳教育を特別に充実しなければならないのか、先生方の理解を進める必要があります。



「徳」を中心においた学校教育に具体的に取り組むためには、組織づくりがポイントの二点目です。道徳教育に学校全体で組織的に取り組むと共に、先生方一人一人の悩みに応えられる道徳教育部の組織が必要です。学校としての共通の課題と、同時に、個のニーズに対応するOJTを生かした取組が欠かせません。

三点目は、学校間連携、家庭・地域連携です。今後、各校の独自性を生かしつつ、学校間で具体的にどのように連携していくか、また、家庭や地域との連携をどのように発展させていくか、道徳教育推進教師を中心に進める必要があります。特に、東日本大震災を経験した仙台市だからこそ、今後の発展的な課題になると思います。

四点目です。現在の社会の動きを考えると国際化の視点は欠かせません。学校生活の中で、子供たちが世界に目を向け、自分たちの生活を見つめ直していく、そのような大きな志を持って生きていくことのできる子供たちを育てるために、道徳教育においても具体的な内容と関わらせて発展的に取り組んでいきたいと思っています。

本日の発表は、それらの基盤づくりの提案であったと思います。提案された取組を各校で行うことで学校は必ず変わります。よりよく生きる子供たちを育てるために道徳教育を充実させていきましょう。

### 【平成 27 年度調査研究委員会】

研究アドバイザー 昭和女子大学大学院 押谷 由夫 教授

委員長 本木 一昭 (鶴谷中 校長) 副委員長 阿部 千幸 (六郷小 教頭)

研究協力校 星 聡栄 (台原小) 濱本 健 (旭丘小) 伊藤 隆 (田子中)

研究委員 大宮 建 (八木山小) 土生 吉伸 (古城小) 我妻美知子 (南光台小)

色摩 理好 (八乙女中) 笠原 由香 (将監中) 佐藤 郁子 (将監東中)

教育研究紀要「教育はいま」第 22 号

発行日 平成 28 年 3 月 31 日

発行者 仙台市教育センター所長 今野 孝一

所在地 983-0825 仙台市宮城野区鶴ヶ谷北一丁目 19 番 1 号

Tel 022-251-7441 (代表)

Fax 022-251-7486

Web <http://www.sendai-c.ed.jp>

代表 E-mail [info-web@sendai-c.ed.jp](mailto:info-web@sendai-c.ed.jp)